土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　国道182号　交通安全施設等整備事業に伴う業務委託(油木安田工区)

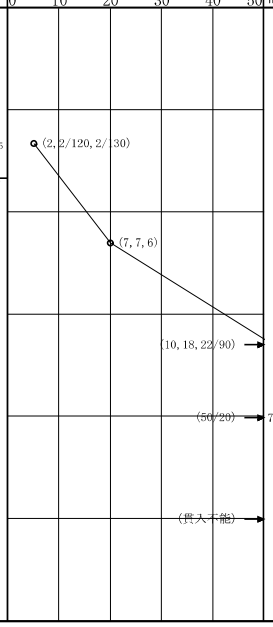
事業名 または 工事名　国道182号　交通安全施設等整備事業

調査目的及び調査対象　道路 盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名	R3Br-1	**調査位置**	広島県神石郡神石高原町油木地内			**北緯**	34° 45′ 37.4371″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2021年 11月　5日 ～ 2021年 11月　6日	**東経**	133° 16′ 52.6290″
調査業者名		**管理技術者**		**担当者**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. +496.92m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
使用機種	**試錐機**	東邦試錐工業製DO-DLXSO型					
総削孔長	5.00m	**エンジン**	ヤンマー製TF90M型	**ポンプ**	東邦試錐工業製BG-3C型		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	496.62	0.30		礫混じり砂質粘土		暗褐				上部15cm程度は粘土主体。深度0.15m以深、礫混じり砂質粘土。礫分は径2～30mm程度の角礫主体。	
1～3				粘土質砂礫		黄褐	緩い中から～ぐい			細粒分(粘土・シルト)を不規則に多量混入した礫質土。部分的に粘土がちな区間を挟む。礫分は径2～40mm程度の角礫主体。	11/05 1.67
	493.62	3.30		チャート		青灰				岩種はチャートと判定した。基本的に岩質は硬質であるが、層理面沿いに分離(割れ)しやすい。また、層理面と交差する方向に割れ目が発達する特徴がみられる。深度3.3～3.4m間、黄褐色～黒褐色に変色した岩片混じり粘土質砂状を呈す。深度3.4m以深、青灰色を基調とし、岩片状～柱状コアに採取される。3mの貫入試験状況から、細片状を呈し、脆弱に見えてもN値は50以上を確認した。確認区間は風化部と判定した。	
4～5	491.92	5.00									

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
5	1.15	2	2	2	6		
	1.50		120	130	350		
20	2.15	7	7	6	20		
	2.45				300		
52	3.15	10	18	22	50	290	
	3.44			90	290		
750	4.00	50			50		
	4.02	20			20	20	
	5.00	貫入不能			50		
					0		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				11/5
				11/6